

## 事業報告(案)

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

### I 事業活動の概況に関する事項

当法人の活動目的は、人を含めたすべての動物たちを幸せにすることです。そのためには、人も動物もより良い形で共生できる社会の構築が必要です。そこで、本年度においても、人と動物のより良い共生を進めるための啓発、教育、研究の各事業、そして目的を達成するために必要な、あらゆる事業を国内外にその分野の関係団体、専門家、行政機関等に幅広く連携を求めて実施しました。

#### 啓発事業

##### りぶ・らぶ・あにまらず第3回神戸アニマルケア国際会議2014 (ICAC KOBE 2014)

この会議は、阪神・淡路大震災15周年を契機として、全ての動物を対象としたよりよいケアや生活環境の保全を目指すための情報交換や新技術の創出等を議論することにより、人をも含めた世界中の動物の福祉を向上させ、もって、我々人間が果たしうる責任を広く社会に示し、幸福な人と動物の共生を更に前進させることを目的として開催しています。今回は2014年7月に開催し、多くの方々のご参加を得ました。

また、開催報告はウェブサイト上に掲載し、広く一般の方々にも閲覧できるようにするとともに、これ迄の記録集を演者別に掲載し直し、研究者及び関心を持つ国内外の方々が、会議の成果を参照し易くするように致しました。

開催日時：2014年7月19日(土)、20日(日)

開催場所：神戸ポートピアホテル

募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など。

内 容：〈国際会議〉

##### ◎基調講演

「インフルエンザウイルスの生態：鳥インフルエンザとパンデミックインフルエンザ対策のために」

喜田 宏氏 (日本学士院 会員/北海道大学 特別教授/北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 統括/OIE 世界鳥インフルエンザレファレンスラボラトリー長/WHO 指定人獣共通感染症対策研究協力センター長)

##### ◎シンポジウム

- ・シンポジウム I 「身近に存在する人と動物の共通感染症」
- ・シンポジウム II 「動物達が開く心の扉 ～CAPP 活動 15,000 回を迎えて」
- ・シンポジウム III 「暴力の連鎖：人間に対する暴力と動物虐待の関連性」
- ・シンポジウム IV 「ずっと一緒に居られる」社会へ - 飼い主を支えるシステムが実現する豊かな社会 (「ずっと一緒に居ようよ」プロジェクト その次へ)
- ・シンポジウム V 「One World, One Health ～今、北極で何が起きているのか?～」
- ・シンポジウム VI 「畜産現場における野生動物被害」
- ・シンポジウム VII 「高度動物医療と終末期動物医療 (安楽死処置を含む：平穏死について)」の現状

- ・シンポジウム VIII 「畜産 Now! ー食の安全と動物福祉」
- ・シンポジウム IX 「奈良県のいのちの教育 ー子ども達へ「いのち」を伝える試み」

会議記録集は会議終了後、基調講演及びシンポジウムの記録を日英両文で作成し、当法人のウェブサイトにて無償提供。英国 NPO CABI (農学系データベース) にも掲載予定。

#### ◎ポスターセッション

大学院生向けにポスターセッションを開催

主催：公益社団法人日本獣医師会、当法人

共催：公益社団法人日本医師会、一般社団法人兵庫県獣医師会、公益社団法人神戸市獣医師会  
シンポジウム主催団体: 人と動物の共通感染症研究会、公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人日本動物福祉協会、動物との共生を考える連絡会、日本野生動物医学会、日本クマネットワーク、応用動物行動学会、公益社団法人日本獣医師会、公益社団法人日本獣医学会、奈良県うだ・アニマルパーク振興室、当法人

特別協賛：ネスレ日本株式会社 ネスレ ピュリナ ペットケア

協賛：日本ヒルズ・コルゲート株式会社

シンポジウム支援企業及び団体：ロイヤルカナンジャパン、ネスレ日本株式会社ネスレピュリナ ペットケア、DS ファーマアニマルヘルス株式会社、マース・ジャパン・リミテッド

会議支援企業及び団体：アメリカペットフード協会、六甲山カンツリーハウス、アサヒグループホールディングス株式会社

会議サポーター：個人の方のご寄付

助成：公益財団法人中内力コンベンション振興財団

特別協力：一般社団法人ペットフード協会、北海道大学大学院獣医学研究科、帯広畜産大学獣医学課程、岩手大学農学部共同獣医学科、東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻、東京農工大学農学部共同獣医学科、岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科、鳥取大学農学部共同獣医学科、山口大学共同獣医学部獣医学科、宮崎大学農学部獣医学科、鹿児島大学共同獣医学部獣医学科、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻、酪農学園大学獣医学部、北里大学獣医学部獣医学科、日本大学生物資源科学部獣医学科、麻布大学獣医学部、日本獣医生命科学大学獣医学部、帝京科学大学アニマルサイエンス学科

協力：長崎大学熱帯医学研究所、日本寄生虫学会、日本衛生動物学会、日本熱帯医学会、NPO 法人野生動物救護獣医師協会、公益社団法人日本動物園水族館協会、兵庫県動物愛護センター、ニホンジカ有効活用研究会、アニマテック・オオシマ、優良家庭犬普及協会、一般社団法人日本ペット用品工業会、一般社団法人エゾシカ協会、日本動物病院会、一般社団法人日本 SPF 豚協会、緊急災害時動物救援本部、ちよだニャンとなる会、一般社団法人日本障害者乗馬協会、ヒトと動物の関係学会、一般社団法人日本動物看護職協会、ペットとの共生推進協議会、一般社団法人ジャパンケネルクラブ、日本獣医学生協会 (JAVS)

後援：農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、神戸市動物愛護協会、一般社団法人兵庫県医師会、一般社団法人神戸市医師会、公益財団法人日本動物愛護協会、公益社団法人日本愛玩動物協会、一般財団法人 J-HANBS、駐大阪・神戸アメリカ合衆国総領事館関西アメリカンセンター

## 第14回りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル2014

このフェスティバルは、動物と暮らすことの楽しさを実感して頂き、飼育マナーの啓発や世代間交流の一助として、人と人、人と動物の幸せな共生社会の構築に寄与することを目的としております。本年度も初心者向けドッグスポーツ大会、補助犬、ワーキングドッグのデモンストレーション、神戸市犬譲渡制度のPR等動物にかかわる様々な団体が一堂に会してイベントを実施しました。また、このフェスティバルを開催するに当たり、多くの団体、企業の皆様の協力、協賛を得て実施することができました。「りぶ・らぶ・あにまるず賞」は、企業・団体が、動物愛護法を尊重し、その商品及び活動が人と動物の共生という視点を反映し、一般の方々への啓発と日本における新たな共生文化へ発展することを期待して設けられました。また、そのような企業・団体に感謝の気持ちを表明することを目的としております。

開催日時：2014年11月30日（日）9：00～16：00

開催場所：神戸市総合運動公園（球技場、水上ステージ、水上ステージ前広場）

主催：公益社団法人 Knots

共催：神戸市動物愛護協会

開催協力：神戸市動物管理センター、公益社団法人日本動物福祉協会CCクロ、公益社団法人神戸市獣医師会、社会福祉法人兵庫盲導犬協会、NPO法人日本サービスドッグ協会（JSDA）、社会福祉法人日本介助犬協会、日本フリスビードッグ協会、マスタドッグスクール、ギグレース協会、Dogs Life、徳田建

賞品提供：JTB 国内旅行企画 西日本事業部、㈱セラヴィリゾート泉郷、P・ポール㈱、DOG PAPA、NPO 法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B型）事業所 Patch、日本フリスビードッグ協会兵庫支部、株式会社エミット、イリコスキー製麺所、前田・岩本 GK

出店協力：株式会社なちゅらフーズ、P・ポール㈱、NPO 法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B型）事業所 Patch、大辞典.com、前田・岩本 GK、Lab&Peace、Quilt Café、神戸六甲からあげ専門店 チキンハート、㈱エミット、ドッグライフプランはしもと

後援：近畿環境事務所、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、公益社団法人日本獣医師会、一般社団法人兵庫県獣医師会、公益社団法人神戸市獣医師会、公益財団法人日本動物愛護協会、公益社団法人日本動物福祉協会、公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人日本愛玩動物協会

募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など

ルール等：事前にウェブ上で公表

### 「りぶ・らぶ・あにまるず賞2014」

対象：人と動物の共生へ尽力する企業の商品及び活動

選出方法：ウェブサイト上で意見を募集し、企業活動をノミネート。選考委員による投票で最終決定する。

選考委員：横山章光氏（ヒトと動物の関係学会 常任理事）

児玉小枝氏（どうぶつ写真家）

野田英明氏（六甲山観光株式会社 取締役観光事業部長）

深尾典男氏（国立大学法人長崎大学 副学長）

富永佳与子（公益社団法人 Knots 理事長）

発表：「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル2014」会場及びウェブサイト上にて公表。

今回は「東京海上日動 超保険 生活サポートサービス『超保険アシスト』」に決定いたしました。

### **2014年ノミネート一覧**

- ・東京海上日動 超保険 生活サポートサービス『超保険アシスト』
- ・オピタノ クールシャツシリーズ
- ・いぬてれび
- ・ユニ・チャーム マナーウェア男の子用

なお、「りぶ・らぶ・あにまるず賞2015」は2014年11月1日から2015年10月31日までを対象期間としてノミネート推薦を受け付けております。

### **奈良県教職員向け研修会**

今回の研修では、午前中に奈良県の教職員向けに生活科における命を考える研修会が行われ、午後からは英国王立動物虐待防止協会（RSPCA）国際部門のポール・リトルフェア氏の研修が行われました。

開催日時：2014年8月18日（月）

場 所：奈良県うだ・アニマルパーク動物学習館

◎「体験しよう！動物飼育から命を考える生活科研修講座」

時 間：9：30～12：00

主 催：奈良県立教育研究所、奈良県うだ・アニマルパーク振興室

◎「RSPCAのポール・リトルフェア氏と考える「いのちの教育」研修会

時 間：13：00～16：00

主 催：奈良県うだ・アニマルパーク振興室

共 催：奈良県教育委員会、当法人（協定締結団体）

### **「いのちの教育プログラム」研修会**

奈良県下の小学校約200校の内45校がモデル校となって実施し、この研修会ではモデル校の学習風景を見学し、参加者を対象に模擬授業を行ったりしています。プログラムは大きく3つに分かれており、奈良県の「いのちの教育プログラム」はプログラムⅠからⅢまでの3つのステップに分かれています。その内容はプログラムⅠ（私たちと動物との関わり）、プログラムⅡ（動物と私たちの「いのち」は同じ）、プログラムⅢ（動物のために私たちができること）となっています。

今回の研修会では午前中にプログラムⅠ～Ⅲをすべて見学し、午後から桜井保健所動物愛護センターの見学を行い、その後に、現在奈良県が企画開発を行っている中高生向けプログラムの概要説明、模擬授業、意見交換等を行いました。

当法人は奈良県うだ・アニマルパーク振興室と2012年6月から連携協定を締結し、共に「いのちの教育」の普及を推進しています。

なお、当法人の理事長は、「奈良県「いのちの教育」研究協議会の副会長としての役職を頂き、「いのちの教育」プログラムの研究及び情報収集・発信にも取り組んでおります。

開催日時：2014年10月3日（月）

主催：奈良県うだ・アニマルパーク振興室、当法人

後援：奈良県教育委員会、宇陀市教育委員会、公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人奈良県獣医師会

### 「ずっと一緒に居ようよ」プロジェクト その次へ

『「ずっと一緒に居られる」社会へー飼い主を支えるシステムが実現する豊かな社会』をテーマに、「飼い主を支える社会システムは、ビジネスで成り立つものと福祉の2本立てとなる。40%が高齢者に、37%が単身者になる未来に、伴侶動物が「ずっと一緒に」居られる社会は如何に構築され得るのか。その可能性を議論し、人と動物の幸せな未来予想図を構築したい」という趣旨で、今年度開催の『第3回神戸アニマルケア会議 - ICAC KOBE 2014-人と動物の未来の為に』にて、シンポジウムを行いました。

日時：2014年7月20日（日）10:00～13:00

会場：生田

主催：当法人事務局

サポート企業：ネスレ日本株式会社、ネスレピュリナペットケア

募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など

- ・「座長メッセージ」  
富永佳与子（当法人理事長）
- ・「尼崎市動物愛護基金条例について」  
田原正規氏（尼崎市健康福祉局保健生活衛生課動物愛護担当係長／獣医師）
- ・「家庭動物の社会的地位を確立するために～家族の一員から社会の一員へ～」  
細井戸大成氏（公益社団法人日本獣医師会理事／公益社団法人日本動物病院協会会長）
- ・「飼い主の今を探る」  
西澤亮治氏（特定非営利活動法人動物愛護社会化推進協会事務局長）
- ・「行政による犬猫の引き取りから考える、幸ある社会の実現のためにできること」  
湯木麻里氏（神戸市垂水衛生監視事務所担当係長／獣医師）
- ・「ずっと一緒に居られる社会ービジネスからのアプローチ」  
緒方知行氏（流通ジャーナリスト／月刊『2020 Value Creator』編集主幹）
- ・「21世紀の我が国の課題解決に向けて～一人一人が生き生きと暮らせる社会を目指して」  
嶋野武志氏（長崎大学産学官連携戦略本部副本部長（人材育成部門）教授）

## 六甲山カンツリーハウスわんわんドッグフェスタ 2014 運営協力

毎年、春と秋2回のドッグラン、イベントなどの運営協力を行っています。この事業に、たくさんの飼い主さん、ワンちゃんにご参加いただき、動物と暮らす楽しさ、幸せを実感して頂きました。人と動物のより良い共生推進の一助として運営協力いたしました。参加者には、登録と予防接種の狂犬病予防法の順守を条件付けており、啓発にもなっています。なお、春のドッグランでは入場者数が5,000頭を超えました。

主 催：六甲カンツリーハウス

運営協力：公益社団法人 Knots

募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など

ルール等：事前にウェブ上等に公表

## Dog Run

期 間：春 4月12日～ 7月 5日までの土・日・祝日（5月31日を除く。）

秋 9月 6日～11月 8日までの土・日・祝日（10月25日を除く。）

時 間：10時00分～16時30分

### ワンちゃん大運動会

日 時：春 6月 1日（日） 11:00～15:30

秋 11月 9日（日） 11:00～15:30

### ディスクドッグ教室

日 時：10月26日（日）

協 力：ハイパーフライトジャパン

## 野生動物有効活用推進事業

ひょうごニホンジカなどは知的障害者作業所の方と共同で開発・製造しました。播州宍粟ジカシリーズは地元の主婦グループにより製造し、当法人において販売しております。ウェブサイトを通じて、野生動物の有効利用を促進、有害鳥獣の現状等の情報提供も行いました。この事業の売り上げは「障害者の自立支援事業」実施の財源となっています。また、有効活用を進めることで、産業が生まれ、雇用創出につながり、ひいては生産者の方々の生活向上の一助にもなります。

## 各種コンサルティング・相談業務の実施

動物と安全に暮らしていくための相談対応、ペット可集合住宅での管理組合、管理会社のサポート、野生動物との関わり方など人と動物の共生に係る様々な相談に対応します。また、人も動物も快適な住まいや旅行等の商品開発のためのコンサルティングを実施します。人と動物のより良い共生を推進し、人も動物も幸せにするために、必要な相談等をイベント会場で行いました。

募集方法 ウェブサイトなど

## 障害者の自立支援事業

当法人が販売している安全安心な犬用手作りおやつのはんどは NPO 法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B 型）事業所 Patch(パッチ)に製造を担当して頂いています。また、新商品の開発も共に行っ

ています。意識の高い飼い主のニーズに合った安全、安心な犬用おやつを販売することが、障害者の方々の自立支援となるのではないかとということで、一緒に開発、製造、販売に取り組んでいます。

Patch は製造担当として、品質管理等にも注力され、商品の品質も認められて、今では多くのお客様が定期的に購入をして下さっています。その結果、モデル作業所として認められ、他所からの視察も多くなっています。

また、この事業の推進によって、障害者の方々が仕事に対するやりがいを感じ、当初の目的であった、メンバーの方達の通所費用を賄えるところまで、運営が進んでいます。引き続きこのような形で自立支援を行っていきます。また、今年度も Knots 事務局での作業も支援事業として加えることとし、チラシ送付等の作業を行って頂きました。

支援内容 安心安全な犬用おやつ共同開発・製造・販売

チラシ等の封入、発送事務局作業 (ICAC 神戸 2014 日本語パンフレット、実施報告書)

## 情報提供事業

主にウェブサイト、メールマガジン等を通して、事業開催情報の他、他団体の催事情報や国内外のリポート等も提供し、更に各種イベントを通じて、幅広く不特定多数の方々に人と動物の共生に関わる様々な情報を提供しました。

特に、「神戸アニマルケア国際会議 2014 – ICAC KOBE 2014」の実施報告書は当法人のウェブサイト上でも無料で公開しており、研究者や内外の関心を持つ方々に会議の成果をご活用頂き易くなっております。

また、今年度は2014年10月4日(土)に東京都立駒沢オリンピック公園で開催の「2014動物感謝デーin JAPAN」((公社)日本獣医師会主催)ブース参加をさせて頂きました。2015年7月に開催予定の神戸アニマルケア国際会議や奈良県の「いのちの教育」研修会の告知もさせて頂きました。当法人は、「2014動物感謝デーin JAPAN」の協力団体でもあります。

## 教育事業

人と動物のより良い共生を進めるために役立つ情報を、主にインターネットを通して幅広く提供しました。実施した会議や講演会等の貴重な内容については、可能な限りウェブサイト上で、特に ICAC KOBE は、日英両文にて公開し、当日会場に来られなかった全世界の不特定多数の方々を対象に教育の機会を設けています。

また、人と動物のより良い共生を推進する為、一般市民はもとより、関係する専門家、学生等にとっても有益な知識、情報を提供するべくセミナー等を実施、その他学校の教育事業に協力する等、人材の育成、知識の向上、児童及び青少年の健全育成に貢献しました。

### (1) 情報提供による教育機会の提供

人と動物のより良い共生の推進の為に、開催するセミナー等の内容は全て後日、記録集(可能なものについては、日英両文にて制作)としてウェブサイト上で無料公開し、会場に来られなかった不特定多数の方々へ教育の機会を提供しました。ヒューメインセンタージャパン(HCJ)事業(昨年度事業終了)及び奈良県「いのちの教育展開事業」連携協定事業として研修会(奈良県うだ・アニマルパークとの連携事業)を実施し、情報と教育の機会を提供しました。また、第35回動物臨床医学会年次大会・市民公開シンポジウムで当法人理事長が報告を行いました(研究事業参照)。

## (2) 講師の派遣

専門学校、セミナー等への講師派遣を随時実施、人材育成、知識の向上及び青少年の健全育成に貢献してまいります。今年度は講師の派遣はありませんでしたが、引き続き、関係者を含め、多くの方々に周知利用の促進を図っていきたくと考えております。

### 研究事業

人と動物のより良い共生を推進する為に必要な情報収集と研究を行い、その情報を幅広く提供することで、啓発、教育事業を行いました。今年度は奈良県「いのちの教育展開事業」連携協定事業として研修会（奈良県うだ・アニマルパークとの連携事業）を実施しました。また、第35回動物臨床医学会年次大会・市民公開シンポジウムで当法人理事長が報告を行いました。

公表方法 ウェブサイトに掲載

### 第35回動物臨床医学会記念年次大会・市民公開シンポジウム

（平成26年科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「研究成果公開公表（B）」）

「日本における動物愛護活動の実態と今後のありよう」

2014年11月16日に大阪国際会議場（グランキューブ大阪）において動物臨床医学会、公益財団法人動物臨床医学研究所主催の年次大会・市民公開シンポジウムが開催され、第3日目の市民公開シンポジウムにおいて発表者の一人として本法人富永理事長が「諸外国（特に欧米）の動物愛護行政の実態と取り組み」と題して報告させて頂きました。英国王立動物虐待防止協会（RSPCA）と米国ハワイアン・ヒューメイン・ソサイエティ（HHS）を紹介させて頂き、その内容は本法人のホームページに掲載して多くの方に情報を提供させて頂きました。

科研費（科学研究費補助金／学術研究助成基金助成金）の「研究成果公開公表」は、学会等において学術的価値の高い研究成果の社会への公表や国際発信に対して助成されるもので、平成25年度には約9万8千件もの応募があり、本学術大会はこの助成対象になっているものです。

### その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

国内外の関係団体、専門家、行政機関との連携促進

『奈良県いのちの教育事業』推進のため、奈良県、公益社団法人日本動物福祉協会と3者協定を締結致しております。

## II 組織の運営に関する事項

### 1 総会の開催状況

	開催年月日	主な議決事項等
定時	平成26年6月12日	平成25年度計算書類等承認の件（承認可決） 定款一部変更の件（承認可決）

## 2 理事会の開催状況

	開催日	主な議決事項等
第27回	平成26年4月25日	・主たる事務所移転の件（承認可決）
第28回	平成26年5月15日	・平成25年度事業報告承認の件（承認可決） ・平成25年度決算書類承認の件（承認可決） ・正会員入会承認の件（承認可決） ・定時総会の開催について（承認可決） ・職務の執行状況の報告
第29回	平成26年6月19日	・専務理事1名選定の件（承認可決） ・事務局長選任の件（承認可決）
第30回	平成26年10月22日	・正会員入会承認の件（承認可決） ・職務の執行状況の報告
第31回	平成27年3月5日	・正会員入会承認の件（承認可決） ・平成26年度事業報告と平成27年度事業計画収支予算の件（承認可決） ・職務の執行状況の報告

## 3 役員に関する事項

地 位	氏 名
代表理事	富永 佳与子
代表理事	八木 卓也
専務理事	白川 尚範
理 事	マクナーニ 真樹
理 事	佐藤 剣
理 事 (事務局長兼任)	川崎 良輝
監 事	岡本 浩一

## 4 辞任した役員の氏名

地 位	氏 名	退任月日・退任事由
	該当なし	

## 5 法人の運営組織の状況に関する重要な事項

特にありません。

Ⅲ その他法人の状況に関する重要な事項  
特にありません。

平成26年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2015年5月

公益社団法人 Knots